



鶴見大学・鶴見大学短期大学部  
平成29年度新入生保護者アンケート

調査結果報告書

平成29年6月



# 目次

- 目次	1
- 調査概要	2
▶ 1 調査結果：サマリー	3
▶ 2 調査結果	11
- 保護者と新入生の基本属性	12
- 保護者の大学選択行動と意識	
• 保護者の受験時間与度	15
• 保護者のオープンキャンパス・体験入学参加経験	16
• 保護者の認知経路	17
• 保護者が一番参考にした情報源	18
• 保護者が進学を奨めた理由	19
• 入学に対する満足度	20
- 保護者の大学に対する期待	
• 保護者が学生生活に期待する事柄	21
• 重点的に取り組んでほしい事柄	22
- 鶴見大学・鶴見大学短期大学部に関するご意見等（抜粋）	23
▶ 調査票	

# 調査概要

## ▶ 調査目的

－ 鶴見大学および鶴見大学短期大学部の新入生保護者における入学満足度、大学選択行動と意識、大学に期待する事柄などを把握する。

## ▶ 調査対象

－ 平成29年度鶴見大学・鶴見大学短期大学部の新入生の保護者

## ▶ 調査方法

－ 郵送調査：保護者宅に調査票を郵送、同封の返信用封筒にて回収

## ▶ 配布・回収数

－ 配布数 869 件

－ 回収数 416 件 (回収率 47.9 %)

－ 学部別回収状況

	配布数	回収数	(回収率)
•文学部	383 件	183 件 (	47.8 %)
•歯学部	71 件	44 件 (	62.0 %)
•短期大学部	415 件	188 件 (	45.3 %)

※在籍学部学科 不明 1件

## ▶ 調査期間

－ 平成29年4月26日(水) ～ 5月26日(金)

## ▶ 調査項目

－ 回答者プロフィール：保護者の続柄、新入生の性別、新入生の在籍学部学科、受験時に利用した入試方法

－ 保護者の大学選択行動と意識：保護者の受験時間関与度、オープンキャンパス・体験入学参加経験、認知経路、情報源、進学を奨めた理由、入学に対する満足度

－ 保護者の大学に対する期待：保護者が学生生活に期待する事柄、重点的に取り組んでほしい事柄

## ▶ 時系列

－ 平成28年度調査

•回収数 397 件 (配布数 821件、回収率 48.4%)

•調査期間 平成28年 4月25日(月) ～ 5月27日(金)

－ 平成27年度調査

•回収数 440 件 (配布数 936件、回収率 47.0%)

•調査期間 平成27年 4月30日配布数(木) ～ 5月15日(金)



# 1 調査結果：サマリー

# 全体 サマリー

## 【全体】

- 回答者の67%は女子学生の保護者。利用した入試方法は、指定校推薦が44%、AO入試は25%、一般・センター利用が22%。

▶ **鶴見大学・鶴見大学短期大学部への入学に対して、93%が「充分満足している」または「ある程度満足」と回答。**

- 昨年度との大きな差異はみられない。

▶ **保護者の受験時間関与度については、23%が非常に関わっており、ある程度関わった(52%)まで含めると75%が関わったと回答している。**

- 昨年度から関与度は低下。

▶ **鶴見大学への進学を奨めた理由、保護者が学生生活に期待する事柄、鶴見大学に重点的に取り組んでほしい事柄は、概ね昨年と同様の結果。**

- 保護者が鶴見大学への進学を奨めた理由は「学びたい学科・授業内容があるから」(70%)が最も高く、「交通の便・立地条件」「資格取得・就職サポート」が4割台で続く。

- 保護者が学生生活に期待する事柄は、「将来に役立つ資格を取得してほしい」(77%)が最も高く、「専門知識を身につけてほしい」「友人・仲間を増やしてほしい」が6割で続く。

- 鶴見大学に重点的に取り組んでほしい事柄は、「キャリア形成・就職活動支援」(72%)が突出して高い。次いで「修学支援・奨学制度」(34%)が続く。

## ■ 回答者の主なプロフィールと総合指標の一覧表

(%)

### 文学部

男子学生の保護者が過半数(56%)を占める。  
入試方法は、  
指定校推薦 45%、  
一般・センター利用 24%  
AO入試 18%

●入学満足度は「充分満足している」が他学部  
部に比べ低い。

		全体	文学部	歯学部	短期大学部
		29年度 (28年度)			
調査数 (人)		416 (397)	183	44	188
新入生性別	男性	32.9 (34.0)	55.7	61.4	4.3
	女性	66.8 (65.7)	43.7	38.6	95.7
利用した入試方法	AO入試	24.8 (24.4)	17.5	2.3	37.2
	指定校推薦 (附属を含む) 入試	44.2 (41.3)	45.4	11.4	50.5
	指定校以外推薦・計	6.7 (7.8)	10.9	—	4.3
	一般・センター利用・計	21.6 (22.9)	24.0	79.5	5.9
保護者の受験時間関与度	関わった・計	★74.5 (79.6)	74.9	72.7	74.5
	非常に (積極的に) 関わった	22.6 (22.7)	20.2	38.6	21.3
	ある程度関わった	51.9 (56.9)	54.6	34.1	53.2
入学満足度	満足・計	★92.5 (90.4)	91.3	90.9	94.1
	充分満足している	51.4 (52.4)	42.6	50.0	60.1
	ある程度満足	41.1 (38.0)	48.6	40.9	34.0
OC・体験入学参加	参加・計	64.7 (62.0)	59.6	31.8	77.7

※平成29年度全体値より

10 10ポイント以上高い

5 5ポイント以上高い

5 5ポイント以上低い

まとめ001

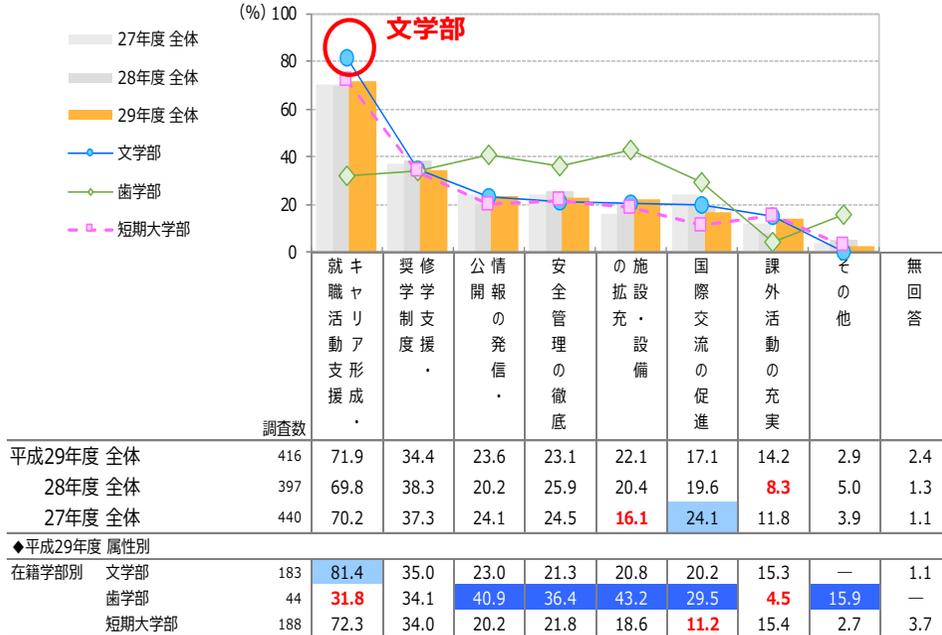
# 文学部サマリー①

■ 重点的に取り組んでほしい事柄について、「キャリア形成・就職活動支援」が1位であり、他学部と比較しても高く、就職への関心は強い。

■ 進学を奨めた理由は「学びたい学科・授業内容がある」(73%)が1位。「高校の先生の薦め」「クラブ・サークル」が他に比較して高い。

## ■ 鶴見大学に重点的に取り組んでほしい事柄 (全体/複数回答)

Q12 今後、本学に重点的に取り組んでもらいたいこととはどのようなことですか。

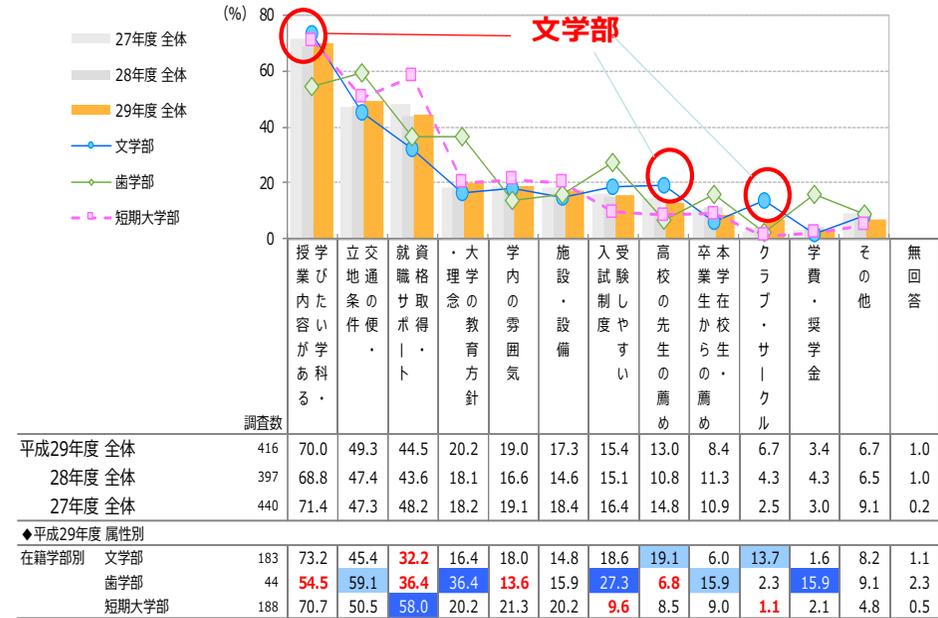


※平成29年度全体のスコアの降順ソート

※平成29年度全体より 10 10%以上高い 5 5%以上高い 5 5%以上低い まとめ\_12

## ■ 保護者が鶴見大学への進学を奨めた理由 (全体/複数回答)

Q10 学生ご本人に本学へ進学を奨めた理由は何ですか。



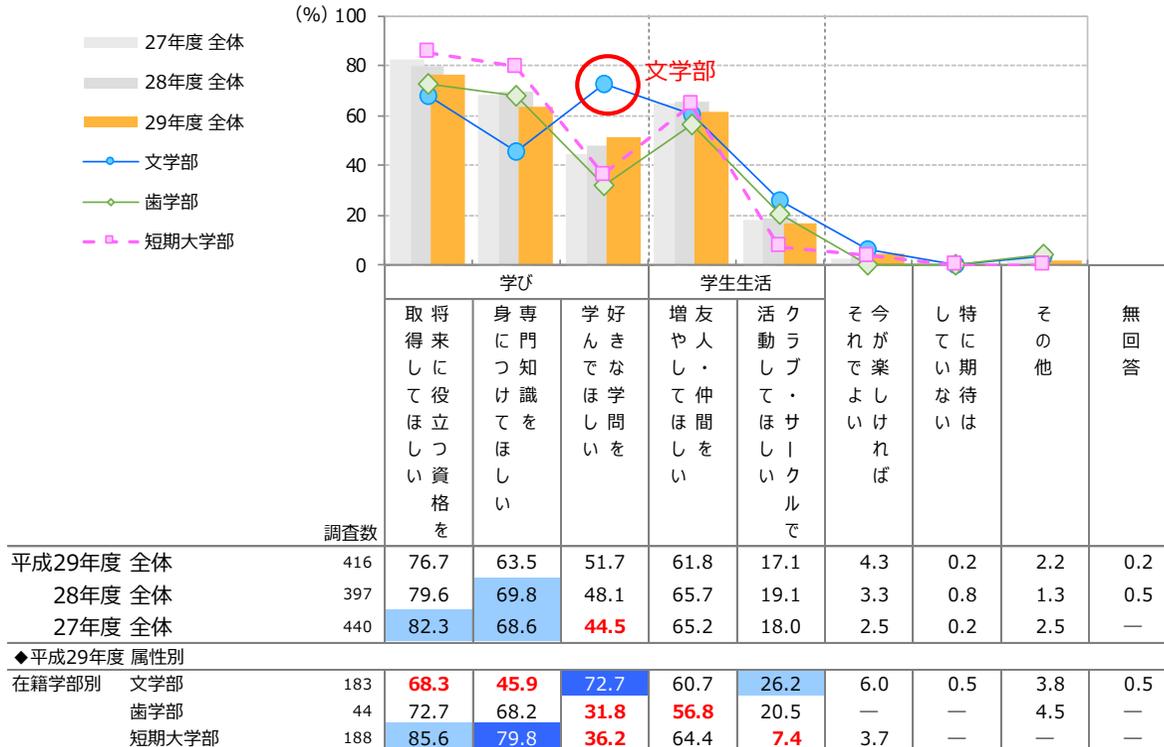
※平成29年度全体のスコアの降順ソート

※平成29年度全体より 10 10%以上高い 5 5%以上高い 5 5%以上低い まとめ\_10

学生生活への期待は「好きな学問を学んでほしい」(73%)が最も高く、『好きな学問・学びたい学科』に重きをおいている様子が見える。

## ■保護者が学生生活に期待する事柄（全体／複数回答）

Q11 学生ご本人のこれからの学生生活に期待していることはどのようなことですか。



※ カテゴリごとに平成29年度全体のスコアの降順ソート

※平成29年度全体平均 10 10%以上高い 5 5%以上高い 5 5%以上低い 11

鶴見大学・鶴見大学短期大学部 平成29年度新入生保護者アンケート 調査結果報告書

# 歯学部サマリー①

男子学生の保護者が61%、入試方法は「一般・センター利用入試」が80%を占める。

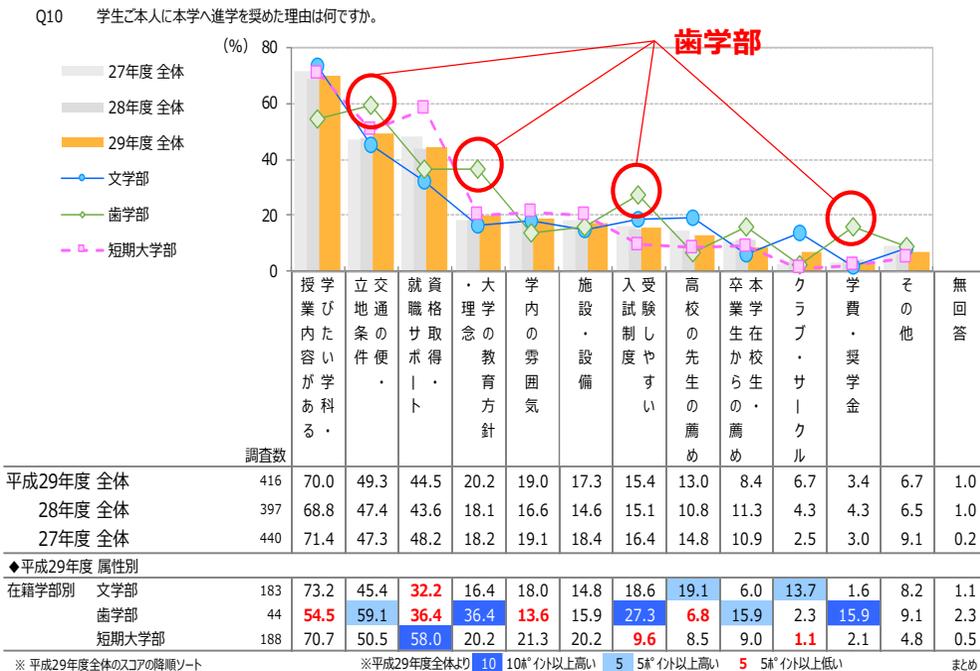
- ▶ 関与度で「非常に（積極的に）関わった」（39%）が他学部比べて高く、入学満足度は50%が「充分満足している」。
- ▶ 進学を奨めた理由は、「大学の教育方針・理念」「交通の便・立地条件」「受験しやすい入試制度」「学費・奨学金」が他学部比べて高く、様々な項目を検討したうえで薦めている様子がうかがえる。

■回答者の主なプロフィールと総合指標の一覧表

		全体		文学部	歯学部	短期大学部
		29年度	(28年度)			
		調査数(人)		183	44	188
新入生性別	男性	32.9	(34.0)	55.7	★ 61.4	4.3
	女性	66.8	(65.7)	43.7	38.6	95.7
利用した入試方法	AO入試	24.8	(24.4)	17.5	2.3	37.2
	指定校推薦(附属を含む)入試	44.2	(41.3)	45.4	11.4	50.5
	指定校以外推薦・計	6.7	(7.8)	10.9	—	4.3
保護者の受験時間と関与度	関わった・計	74.5	(79.6)	74.9	72.7	74.5
	非常に(積極的に)関わった	22.6	(22.7)	20.2	★ 38.6	21.3
入学満足度	ある程度関わった	51.9	(56.9)	54.6	34.1	53.2
	満足・計	92.5	(90.4)	91.3	90.9	94.1
	充分満足している	51.4	(52.4)	42.6	★ 50.0	60.1
OC・体験入学参加	ある程度満足	41.1	(38.0)	48.6	40.9	34.0
	参加・計	64.7	(62.0)	59.6	31.8	77.7

※平成29年度全体値より 10 10%以上高い 5 5%以上高い 5 5%以上低い まとめ001

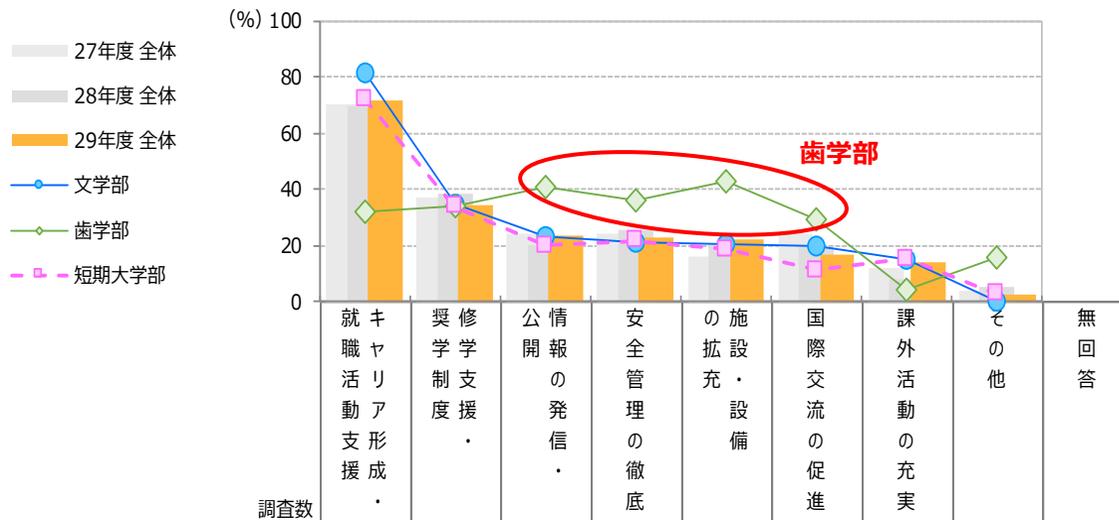
■保護者が鶴見大学への進学を奨めた理由(全体/複数回答)



重点的に取り組んでほしい事柄として「情報の発信・公開」「安全管理の徹底」「施設・設備の拡充」「国際交流の促進」が他学部と比べて高い。

## ■ 鶴見大学に重点的に取り組んでほしい事柄（全体／複数回答）

Q12 今後、本学に重点的に取組んでほしいことはどのようなことですか。



	調査数	就職活動支援	奨学金制度	情報の発信・公開	安全管理の徹底	施設・設備の拡充	国際交流の促進	課外活動の充実	その他	無回答	
平成29年度 全体	416	71.9	34.4	23.6	23.1	22.1	17.1	14.2	2.9	2.4	
28年度 全体	397	69.8	38.3	20.2	25.9	20.4	19.6	8.3	5.0	1.3	
27年度 全体	440	70.2	37.3	24.1	24.5	16.1	24.1	11.8	3.9	1.1	
◆平成29年度 属性別											
在籍学部別	文学部	183	81.4	35.0	23.0	21.3	20.8	20.2	15.3	—	1.1
	歯学部	44	31.8	34.1	40.9	36.4	43.2	29.5	4.5	15.9	—
	短期大学部	188	72.3	34.0	20.2	21.8	18.6	11.2	15.4	2.7	3.7

※平成29年度全体のスコアの降順ソート

※平成29年度全体より 10 10%以上高い 5 5%以上高い 5 5%以上低い まとめ\_12

# 短期大学部サマリー①

女子学生の保護者が大多数(96%)を占める。  
 入試方法は、指定校推薦(51%)、AO入試(37%)の割合が高い。

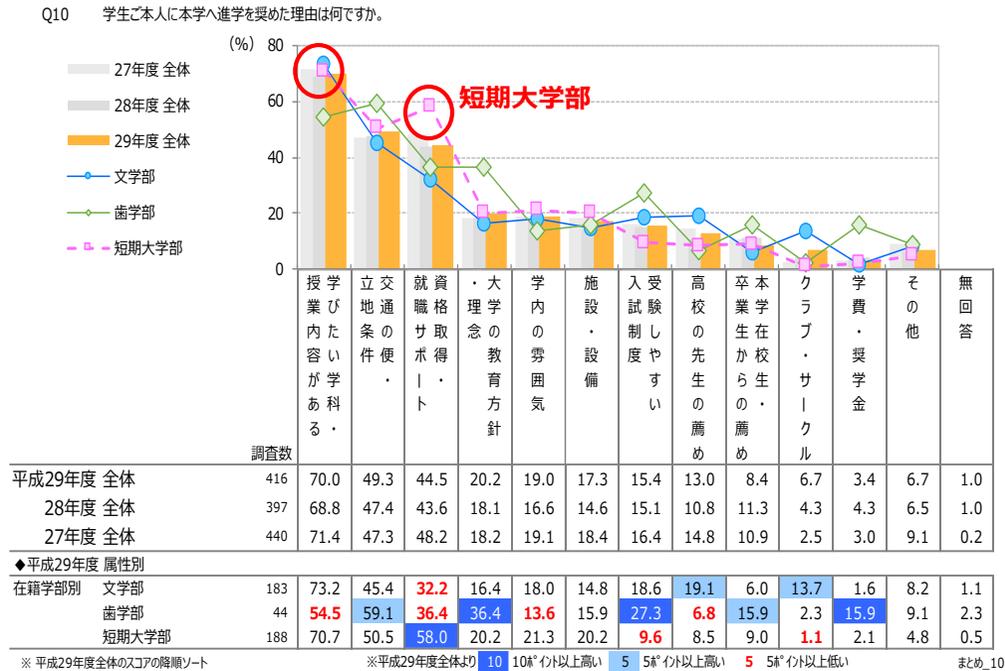
- ▶ 入学満足度は「充分満足している」(60%)が3学部中最も高い。
- ▶ 保護者の受験関与度は全体と同程度。OC参加率は3学部中で最も高い(78%)。
- ▶ 進学を奨めた理由は「資格取得・就職サポート」(58%)が他学部に比べて高く、「学びたい学科・授業内容がある」が1位

■ 回答者の主なプロフィールと総合指標の一覧表

		全体		文学部	歯学部	短期大学部
		29年度	(28年度)			
		調査数(人)		183	44	188
新入生性別	男性	32.9	(34.0)	55.7	61.4	4.3
	女性	66.8	(65.7)	43.7	38.6	95.7
利用した入試方法	AO入試	24.8	(24.4)	17.5	2.3	37.2
	指定校推薦(附属を含む)入試	44.2	(41.3)	45.4	11.4	50.5
	指定校以外推薦・計	6.7	(7.8)	10.9	—	4.3
保護者の受験時間与度	関わった・計	74.5	(79.6)	74.9	72.7	74.5
	非常に(積極的に)関わった	22.6	(22.7)	20.2	38.6	21.3
入学満足度	ある程度関わった	51.9	(56.9)	54.6	34.1	53.2
	満足・計	92.5	(90.4)	91.3	90.9	94.1
	充分満足している	51.4	(52.4)	42.6	50.0	60.1
OC・体験入学参加	ある程度満足	41.1	(38.0)	48.6	40.9	34.0
	参加・計	64.7	(62.0)	59.6	31.8	77.7

※平成29年度全体値より 10 10%以上高い 5 5%以上高い 5 5%以上低い まとめ001

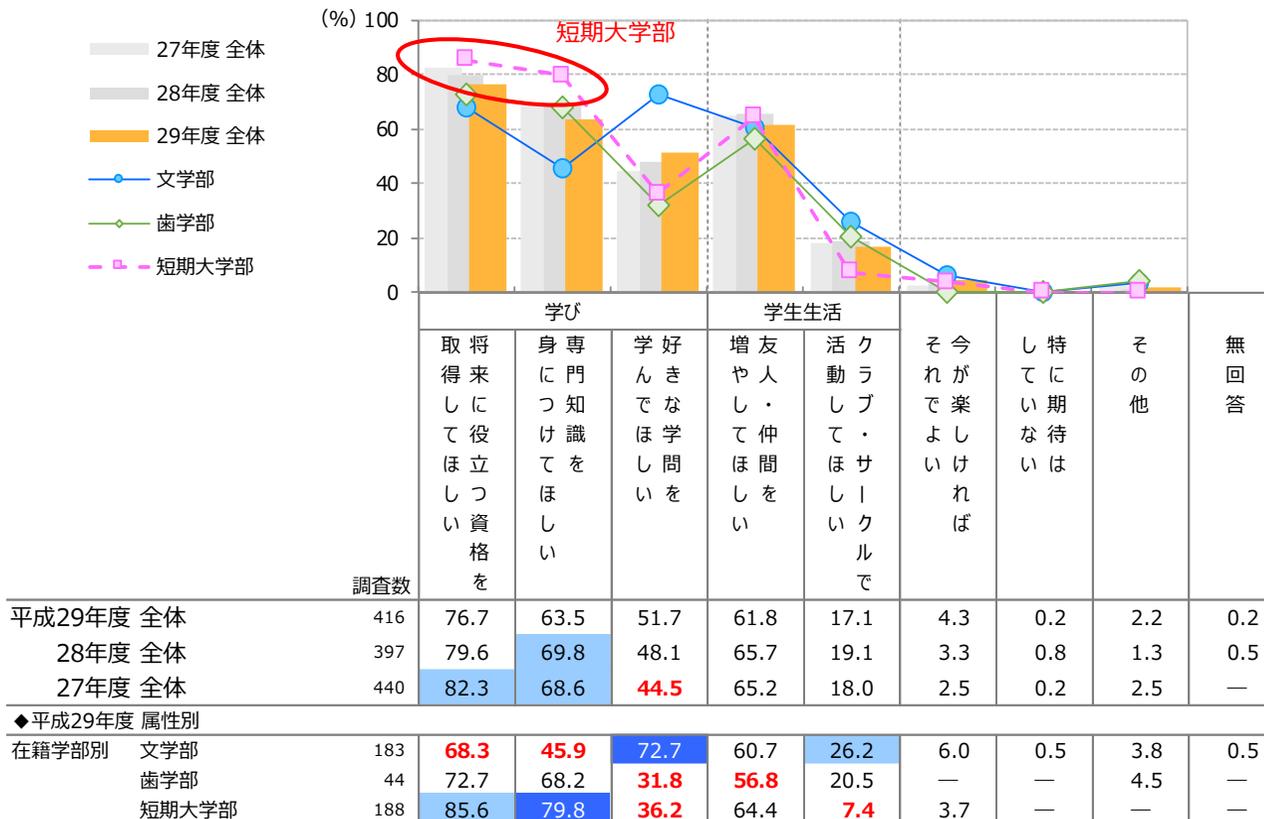
■ 保護者が鶴見大学への進学を奨めた理由(全体/複数回答)



- ▶ 保護者が学生生活に期待する事柄は「将来に役立つ資格を取得してほしい」(85.6%)
- ▶ 「専門知識を身につけてほしい」(79.8%) が他学部比べて高い。

## ■ 保護者が学生生活に期待する事柄 (全体/複数回答)

Q11 学生ご本人のこれからの学生生活に期待していることはどのようなことですか。



※ カテゴリごとに平成29年度全体のスコアの降順ソート

※平成29年度全体より 10 10%以上高い 5 5%以上高い 5 5%以上低い まとめ\_11



## 2 調査結果

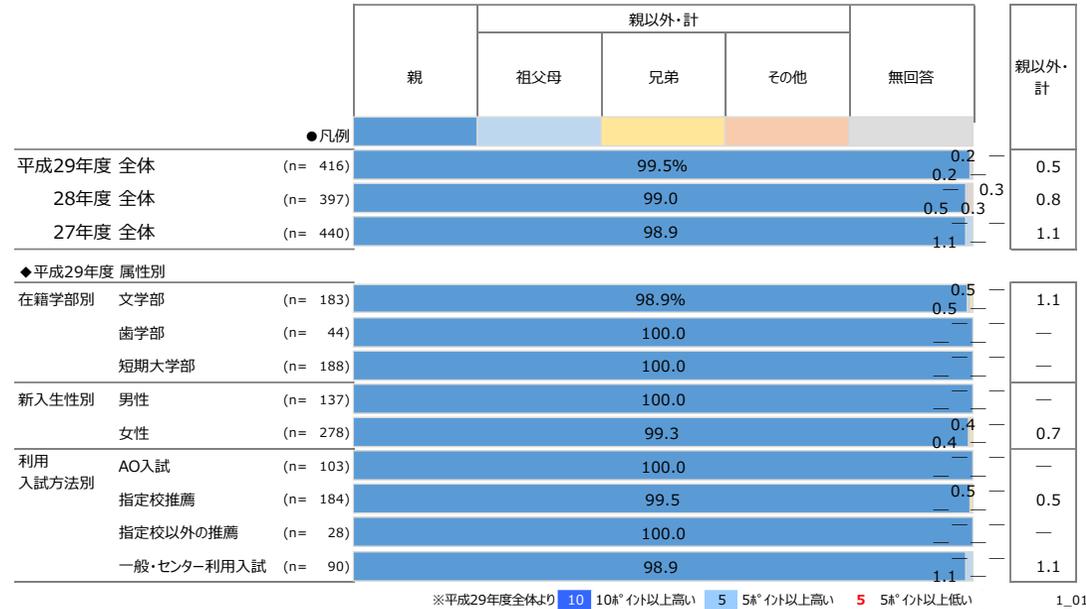
- ①.【保護者と新入生の基本属性】
- ②.【在籍学部学科の分析】
- ③.【利用した入試方法の分析】
- ④.【保護者の大学選択行動と意識】
- ⑤.【保護者の大学に対する期待】
- ⑥.鶴見大学・鶴見大学短期大学部に関するご意見等(抜粋)

# ①.【保護者と新入生の基本属性】

- ▶ 回答者は、ほぼ「親」。
- 昨年度と同様。

## ■保護者の続柄（全体／単一回答）

Q1 学生ご本人との続柄をお知らせください。

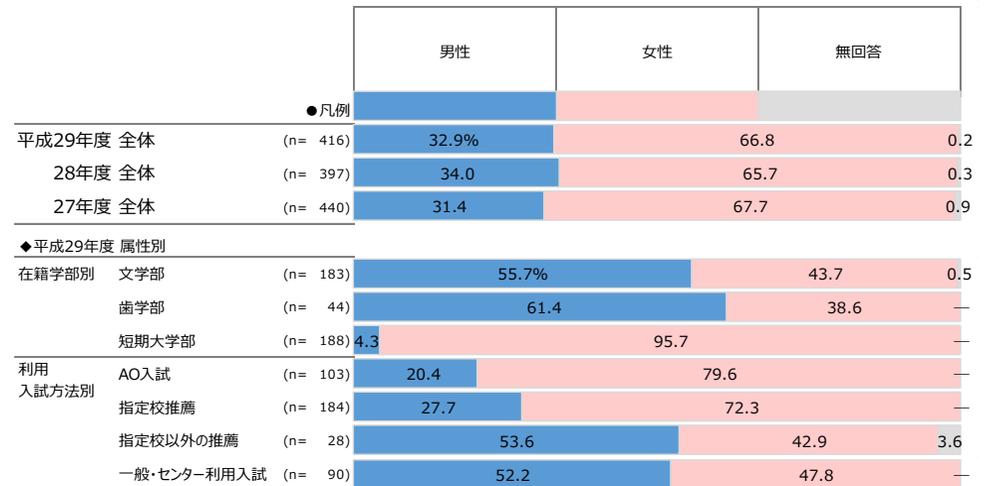


- ▶ 学生ご本人の性別は、「男性」33%、「女性」67%。
- 昨年度と同様。

- 在籍学部別にみると、文学部は56%、歯学部は61%が「男性」、短期大学部は、大半が「女性」。
- 利用入試方法別にみると、AO入試層と指定校推薦層は「女性」が7割台、指定校以外の推薦層と一般・センター利用入試層は「男性」が5割台。

## ■新入生の性別（全体／単一回答）

Q2 学生ご本人の性別をお知らせください。



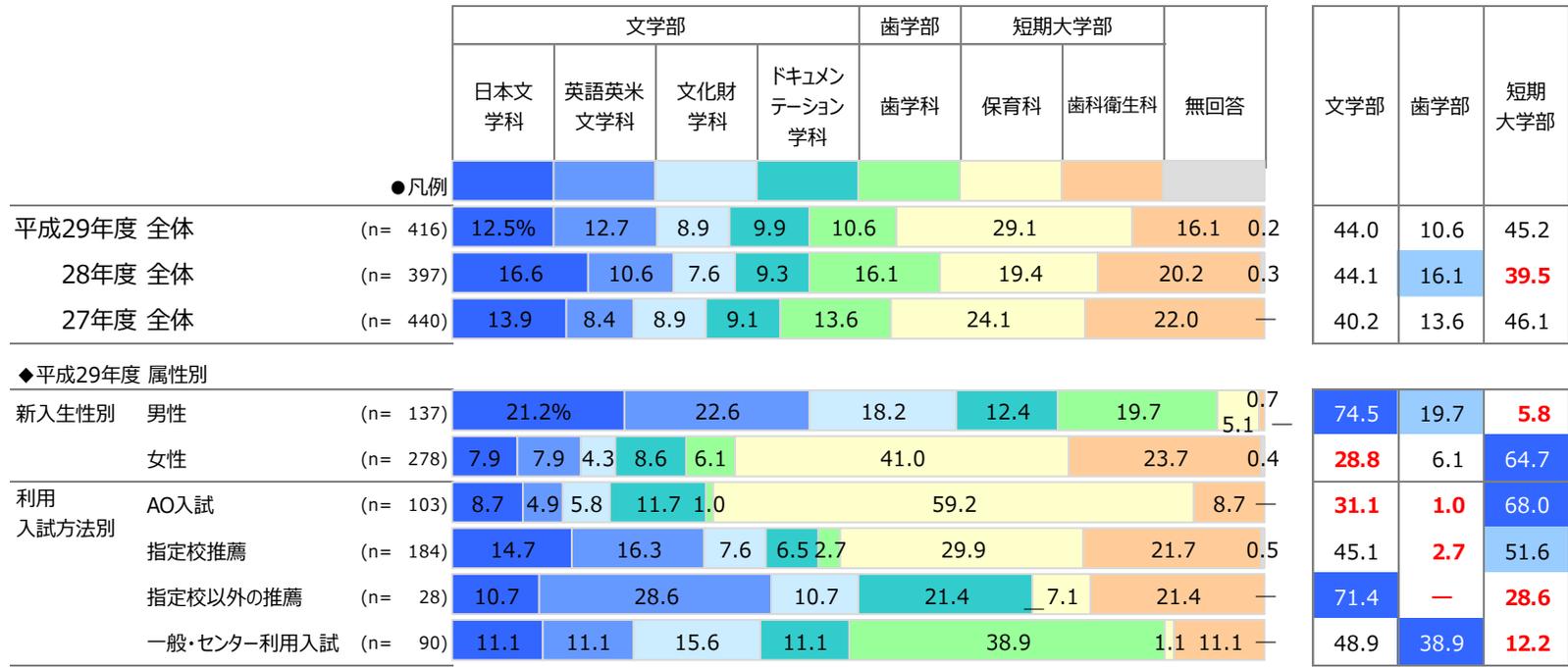
## ②.【在籍学部学科の分析】

### ▶「文学部」が44%、「歯学部」が11%、「短期大学部」が45%。

- 昨年度に比べて、「短期大学部」の割合が高く、「歯学部」が低い。
- 男性は「文学部」が75%、女性では「短期大学部」が65%であり最も高い。また、男性では「歯学部」が20%。
- 利用入試方法別にみると、AO入試層は「短期大学部」が68%、指定校推薦層は「短期大学部」が52%。指定校以外の推薦層は「文学部」が71%。一般・センター利用入試層は「文学部」が49%。同層は全体に比べて「歯学部」の割合が39%と高い。

#### ■ 新入生の在籍学部学科（全体／単一回答）

Q3 学生ご本人の在籍学部学科をお知らせください。



※平成29年度全体より 10 10%以上高い 5 5%以上高い 5 5%以上低い

1\_03

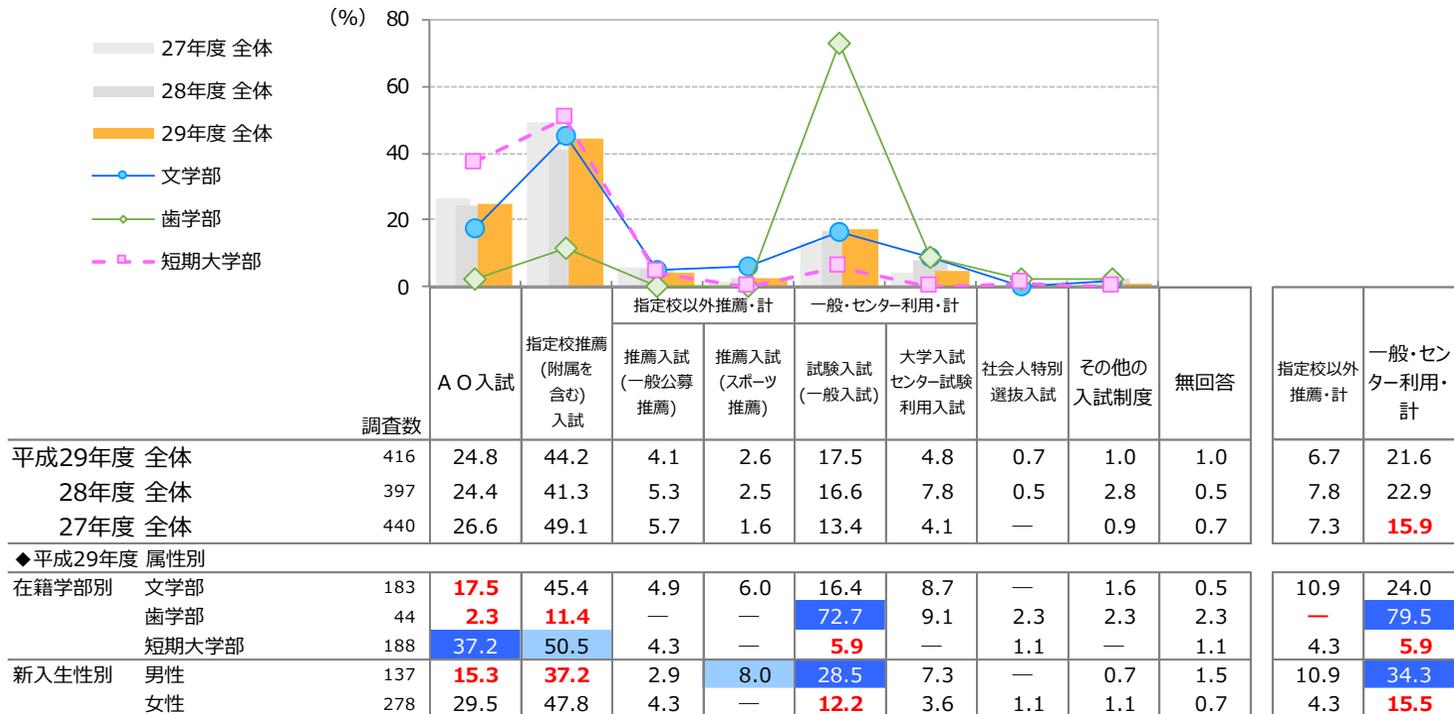
### ③.【利用した入試方法の分析】

▶ 利用した入試方法は、「指定校推薦入試」が44%、「AO入試」が25%、「試験入試」が18%。

- 昨年度と同様。
- 在籍学部別にみると、文学部は「指定校推薦入試」、歯学部は「試験入試」、短期大学部は「指定校推薦入試」と「AO入試」が主に利用した入試方法である。
  - 文学部は「指定校推薦入試」が最も高く、次いで「AO入試」。
  - 歯学部は「試験入試」が73%と高く、「指定校推薦入試」が11%。
  - 短期大学部は「指定校推薦」が51%と最も高く、次いで「AO入試」が37%。
- 新入生の性別にみると、女性は1位「指定校推薦入試」、2位「AO入試」と全体と同様。男性は「指定校推薦入試」が最も高いものの、37%と全体値を7ポイント程度下回る。2位は「試験入試」であり全体値より11ポイント高い。

#### ■ 利用した入試方法（全体／複数回答）

Q4 学生ご本人はどの入学試験を受けて本学に入学しましたか。



※平成29年度全体より 10 10ポイント以上高い 5 5ポイント以上高い 5 5ポイント以上低い

1\_04

## ④.【保護者の大学選択行動と意識】 保護者の受験時間関与度

▶ 保護者の受験時の関与度は、「非常に関わった」が23%。「ある程度関わった」(52%)まで含めた「関わった・計」は75%。

- 昨年度より「関わった・計」は5ポイント低下。
- 在籍学部別にみると、歯学部は「非常に関わった」が39%と、3学部の中で最も高い。
- 新入生の性別には大きな差異はみられない。
- 利用入試方法別にみると、指定校以外の推薦層は「非常に関わった」が36%と最も高い。ついで一般・センター利用入試層が31%。
- OC・体験入学参加経験別にみると、参加層は不参加層に比べて「関わった・計」が高い。

### ■ 保護者の受験時間関与度（全体／単一回答）

Q5 学生ご本人の受験にどの程度関わりましたか。

	関わった・計	関わらなかった・計		どちらとも いえない	無回答	関わった・ 計	関わらな かった・計
		非常に (積極的に) 関わった	ある程度 関わった				
●凡例							
平成29年度 全体 (n= 416)	22.6%		51.9	18.8	1.2	74.5	23.8
28年度 全体 (n= 397)	22.7		56.9	14.6	5.0	79.6	19.1
27年度 全体 (n= 440)	21.4		55.9	18.0	3.9	77.3	21.8
◆平成29年度 属性別							
在籍学部別							
文学部 (n= 183)	20.2%		54.6	18.6	6.0	74.9	24.6
歯学部 (n= 44)	38.6		34.1	18.2	6.8	72.7	25.0
短期大学部 (n= 188)	21.3		53.2	19.1	2.1	74.5	22.9
新入生性別							
男性 (n= 137)	23.4		48.9	19.7	7.3	72.3	27.0
女性 (n= 278)	22.3		53.6	18.0	1.4	75.9	21.9
利用入試方法別							
AO入試 (n= 103)	13.6		62.1	19.4	1.9	75.7	20.4
指定校推薦 (n= 184)	20.7		54.3	19.0	1.1	75.0	23.9
指定校以外の推薦 (n= 28)	35.7		39.3	21.4	4.9	75.0	25.0
一般・センター利用入試 (n= 90)	31.1		42.2	16.7	8.9	73.3	25.6
OC・体験入学参加経験別							
参加 (n= 269)	24.5		57.6	14.5	1.5	82.2	15.6
不参加 (n= 145)	19.3		40.7	26.9	12.4	60.0	39.3

※平成29年度全体より 10 10ポイント以上高い 5 5ポイント以上高い 5 5ポイント以上低い

1\_05

## ④.【保護者の大学選択行動と意識】保護者のオープンキャンパス・体験入学参加経験

### ▶ OC・体験入学には65%が参加しており、参加者のほぼ全員が参考になったと評価している。

- 昨年度と「参加・計」は同程度。
- 在籍学部別にみると、短期大学部は「参加・計」が78%と3学部中で最も高く、次いで文学部が60%。歯学部は「参加・計」が32%に留まる。
- 新入生の性別にみると、女性は男性に比べて「参加・計」が高い。
- 利用入試方法別にみると、AO入試層と指定校推薦層は「参加・計」が8割と高く、一般・センター利用入試層は22%と低い。
- 受験時の関与度別にみると、関わった層(非常に関わった層、ある程度関わった層)は「参加・計」が7割であり、関わらなかった層に比べて高い。

#### ■保護者のOC・体験入学参加経験と評価（全体／単一回答）

Q7 オープンキャンパス・歯学部一日体験入学に参加しましたか。

			参加・計				参加・計
			参加した (参考になった)	参加した (参考にはならなかった)	不参加	無回答	
●凡例							
平成29年度 全体	(n= 416)		63.9%	0.7	34.9	0.5	64.7
28年度 全体	(n= 397)		61.0	1.0	36.5	1.5	62.0
27年度 全体	(n= 440)		68.9	0.9	29.5	0.7	69.8
◆平成29年度 属性別							
在籍学部別	文学部	(n= 183)	59.0%	0.5	39.9	0.5	59.6
	歯学部	(n= 44)	31.8	—	68.2	—	31.8
	短期大学部	(n= 188)	76.6	1.1	21.8	0.5	77.7
新入生性別	男性	(n= 137)	48.9	—	51.1	—	48.9
	女性	(n= 278)	71.6	1.1	26.6	0.7	72.7
利用入試方法別	AO入試	(n= 103)	76.7	1.0	22.3	—	77.7
	指定校推薦	(n= 184)	76.6	1.1	21.2	1.1	77.7
	指定校以外の推薦	(n= 28)	67.9	—	32.1	—	67.9
	一般・センター利用入試	(n= 90)	22.2	—	77.8	—	22.2
受験時の関与度別	非常に関わった	(n= 94)	69.1	1.1	29.8	—	70.2
	ある程度関わった	(n= 216)	70.8	0.9	27.3	0.9	71.8
	関わらなかった・計	(n= 99)	42.4	—	57.6	—	42.4

※平成29年度全体より 10 10% イト以上高い 5 5% イト以上高い 5 5% イト以上低い

1\_07

## ④.【保護者の大学選択行動と意識】保護者の認知経路

▶ 保護者の鶴見大学の認知経路は、「学生ご本人からの情報」(52%)が最も高い。

次いで「オープンキャンパスやイベント」「高校の先生からの情報」「大学ホームページ」が2割超で続く。

- 昨年度と比べると、1位は昨年と同様。昨年3位だった「オープンキャンパスやイベント」は「高校の先生からの情報」を上回り2位に上昇。スコア変化をみると「大学案内パンフレット」が年々低下している。
- 在籍学部別にみると、いずれの学部も1位は「学生ご本人からの情報」。2位は、文学部が「高校の先生からの情報」、歯学部が「大学ホームページ」、短期大学部が「オープンキャンパスやイベント」。
- 新入生の性別にみると、男女ともに1位は「学生ご本人からの情報」。2位は、男性が「大学ホームページ」と「高校の先生からの情報」、女性が「オープンキャンパスやイベント」。
- 利用入試方法別にみると、AO入試層は「オープンキャンパスやイベント」、指定校推薦層は「オープンキャンパスやイベント」と「学生ご本人からの情報」、指定校以外の推薦層は「高校の先生からの情報」と「本学在校生・卒業生からの情報」、一般・センター利用入試層は「大学ホームページ」がそれぞれ他の層に比べて高い。
- 受験時の関与度別にみると、関与度が高い層は「オープンキャンパスやイベント」「大学ホームページ」など大学発信の情報が高く、関与度が低いほど「学生ご本人からの情報」が高い。

### ■進学情報サイトの種類（認知経路が進学情報サイトの者／複数回答）

Q8SQ2 本学を知ったきっかけは何ですか。進学情報サイトの種類

	調査数	リクナビ進学	マイナビ進学	マナビエジョンス	その他	無回答
平成29年度 全体	20	40.0	35.0	25.0	—	35.0
28年度 全体	22	27.3	13.6	9.1	13.6	45.5
27年度 全体	24	29.2	16.7	4.2	—	54.2

※平成29年度全体より 10\* イト以上高い 5 5\* イト以上高い 5 5\* イト以上低い 1\_08\_2

### ■進学情報誌の種類（認知経路が進学情報誌の者／複数回答）

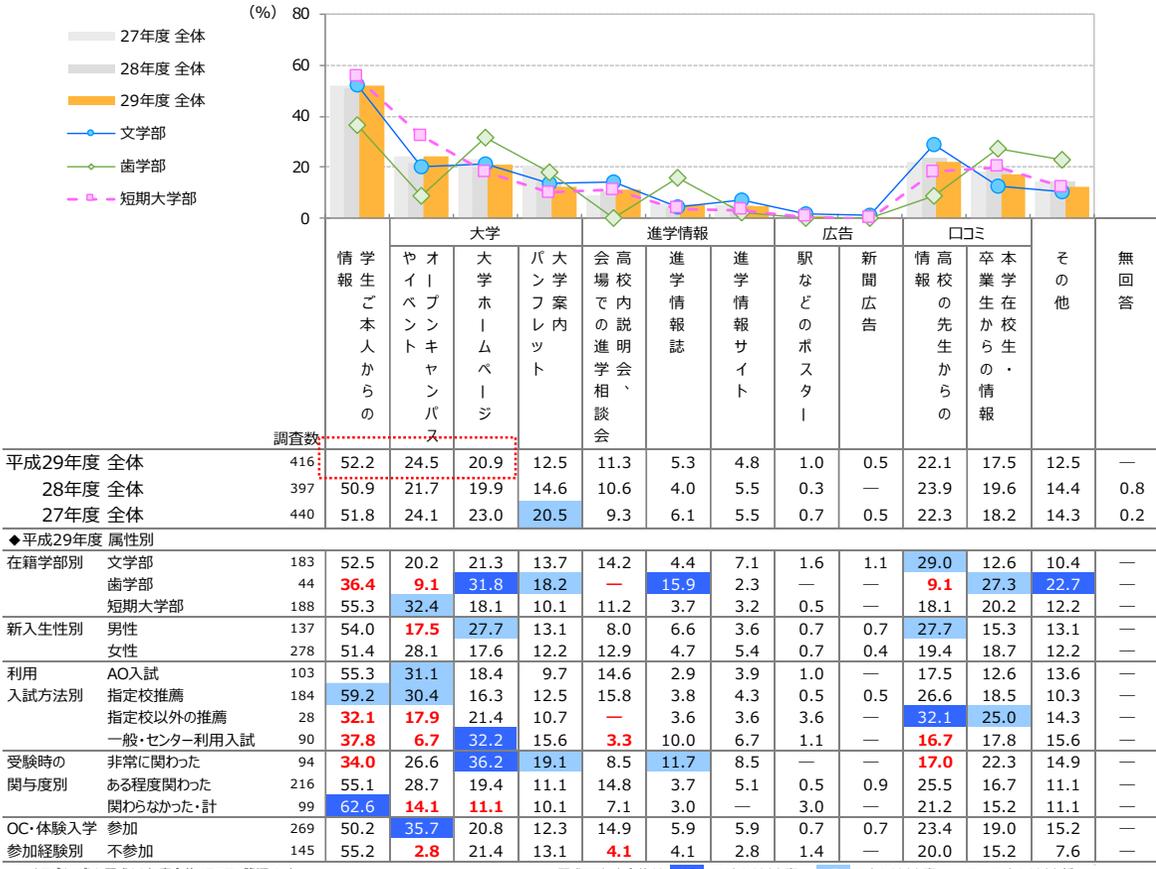
Q8SQ1 本学を知ったきっかけは何ですか。進学情報誌の種類

	調査数	進学クック	リクナビ進学ブック	大マナビ進学辞典	逆引き大学辞典	その他	無回答
平成29年度 全体	22	22.7	4.5	9.1	9.1	68.2	
28年度 全体	16	37.5	6.3	6.3	—	62.5	
27年度 全体	27	22.2	3.7	7.4	—	66.7	

※平成29年度全体より 10\* イト以上高い 5 5\* イト以上高い 5 5\* イト以上低い 1\_08\_1

### ■保護者の鶴見大学の認知経路（全体／複数回答）

Q8 本学を知ったきっかけは何ですか。



※ カテゴリごとに平成29年度全体のスコアの降順ソート

※平成29年度全体より 10\* イト以上高い 5 5\* イト以上高い 5 5\* イト以上低い 1\_08

## ④.【保護者の大学選択行動と意識】保護者が一番参考にした情報源

▶ 保護者が一番参考にした情報源は、「オープンキャンパスやイベント」(51%)が最も高い。  
次いで「大学ホームページ」「大学パンフレット」「高校の先生からの助言」「本学在校生・卒業生の助言」が1割超で続く。

- 昨年度と上位の項目は同様。
- 所属学部別にみると、文学部・短期大学部の1位は「オープンキャンパスやイベント」、歯学部は「大学ホームページ」。文学部は「高校の先生からの助言」、歯学部は「大学ホームページ」「大学パンフレット」および「本学在校生・卒業生の助言」、短期大学部は「オープンキャンパスやイベント」を参考に行っている割合がそれぞれ相対的に高い。
- 新入生の性別にみると、男女ともに1位は「オープンキャンパスやイベント」だが、当該項目は男性に比べて女性が高い。女性に比べて男性が高い項目は「大学ホームページ」と「高校の先生からの助言」。
- 利用入試方法別にみると、AO入試層と指定校推薦層は「オープンキャンパスやイベント」が突出。指定校以外の推薦層では「オープンキャンパスやイベント」と「高校の先生からの助言」が同率1位。一般・センター利用入試層では「大学ホームページ」が1位。全体に比べて「大学パンフレット」が高い。
- 受験時の関与度別にみると、関わった層(非常に関わった、ある程度関わった)は、関わっていない層に比べて、「オープンキャンパスやイベント」が高い。関わっていない層は「高校の先生からの助言」が他層に比べて高い。
- OC・体験入学参加経験別にみると、不参加層は「大学ホームページ」が最も高い。また「大学パンフレット」が参加層に比べて高い。

### ■進学情報誌の種類 (参考にした情報が進学情報誌の者/複数回答)

Q9SQ1 学生ご本人の進学先を考えるときに、一番参考にしたものは何ですか。進学情報誌の種類

	進学情報誌の種類	調査数	割合	順位
	リクナビ進学辞典			
	マナビ進学辞典			
	逆引き大学辞典			
	その他			
	無回答			
平成29年度 全体	6	16.7	—	—
28年度 全体	7	14.3	—	—
27年度 全体	11	—	—	100.0

※平成29年度全体より 10 10%以上高い 5 5%以上高い 5 5%以上低い 1\_09\_1

### ■進学情報サイトの種類 (参考にした情報が進学情報サイトの者/複数回答)

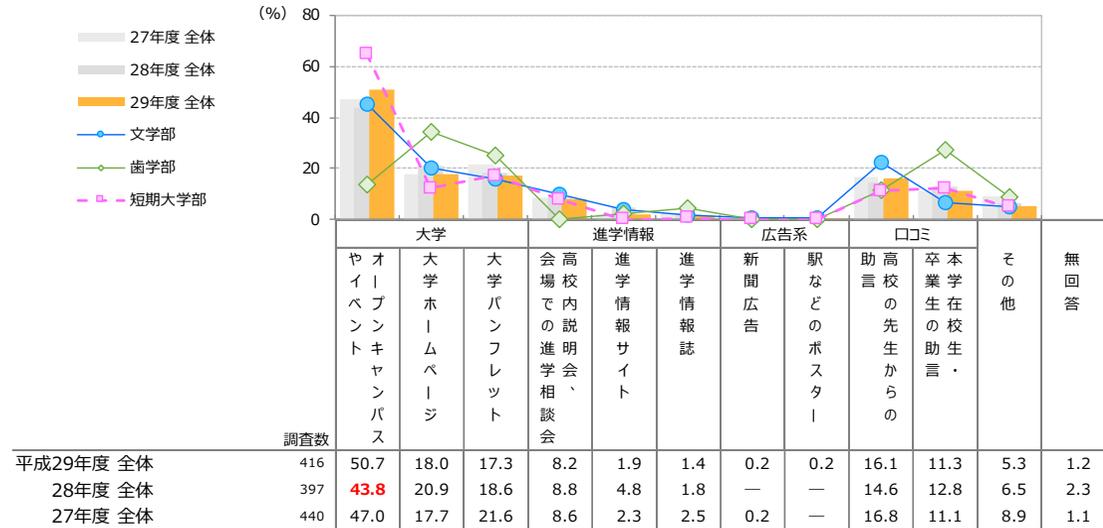
Q9SQ2 学生ご本人の進学先を考えるときに、一番参考にしたものは何ですか。進学情報サイトの種類

	進学情報サイトの種類	調査数	割合	順位
	リクナビ進学			
	マナビ進学			
	マナビ進学			
	その他			
	無回答			
平成29年度 全体	8	25.0	—	12.5
28年度 全体	19	26.3	15.8	21.1
27年度 全体	10	30.0	30.0	10.0

※平成29年度全体より 10 10%以上高い 5 5%以上高い 5 5%以上低い 1\_09\_2

### ■保護者が一番参考にした情報源 (全体/複数回答)

Q9 学生ご本人の進学先を考えるときに、一番参考にしたものは何ですか。



### ◆平成29年度 属性別

属性	調査数	大学	大学ホームページ	大学パンフレット	高校の先生からの助言	進学情報誌	進学情報サイト	新聞広告	駅などのポスター	高校の先生からの助言	卒業生・在校生の助言	その他	無回答
在籍学部別													
文学部	183	45.4	20.2	15.8	9.8	3.8	1.6	0.5	0.5	22.4	6.6	4.9	1.1
歯学部	44	13.6	34.1	25.0	—	2.3	4.5	—	—	11.4	27.3	9.1	2.3
短期大学部	188	64.9	12.2	17.0	8.0	—	0.5	—	—	11.2	12.2	4.8	1.1
新入生性別													
男性	137	38.0	26.3	16.8	5.1	3.6	2.2	—	—	21.2	10.9	5.8	2.2
女性	278	57.2	14.0	17.6	9.7	1.1	1.1	0.4	—	13.7	11.5	5.0	0.7
利用入試方法別													
AO入試	103	69.9	11.7	10.7	7.8	2.9	1.9	—	—	8.7	6.8	3.9	1.0
指定校推薦	184	57.6	13.0	15.8	11.4	0.5	—	0.5	—	19.6	12.0	3.8	1.1
指定校以外の推薦	28	35.7	21.4	10.7	7.1	—	—	—	3.6	35.7	10.7	7.1	3.6
一般・センター利用入試	90	20.0	35.6	28.9	3.3	4.4	3.3	—	—	12.2	13.3	10.0	1.1
受験時の関与度別													
非常に関わった	94	57.4	22.3	19.1	8.5	1.1	3.2	—	—	10.6	6.4	2.1	2.1
ある程度関わった	216	56.9	15.7	17.6	8.8	2.8	0.5	0.5	—	16.2	11.1	4.6	—
関わらなかった・計	99	31.3	20.2	15.2	7.1	1.0	1.0	—	1.0	22.2	16.2	9.1	3.0
OC・体験入学参加経験別													
参加	269	69.9	9.7	12.3	9.3	1.5	1.5	0.4	—	13.8	10.8	3.7	0.4
不参加	145	14.5	33.8	26.2	6.2	2.8	1.4	—	0.7	20.7	12.4	8.3	2.8

※ カテゴリーごとに平成29年度全体のスコアの降順ソート ※平成29年度全体より 10 10%以上高い 5 5%以上高い 5 5%以上低い 1\_09

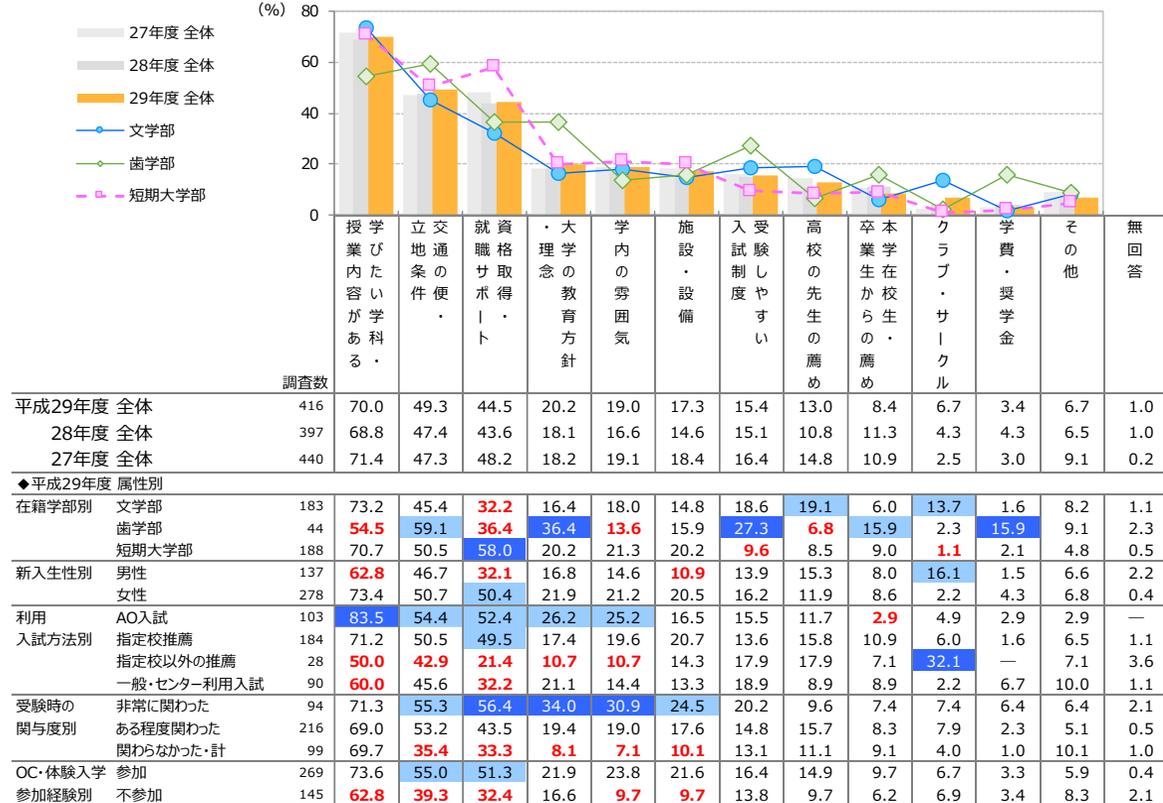
## ④.【保護者の大学選択行動と意識】 保護者が進学を奨めた理由

▶ 保護者が進学を奨めた理由は「学びたい学科・授業内容があるから」(70%)が最も高く、「交通の便・立地条件」(49%)、「資格取得・就職サポート」(45%)が4割台で続く。

- 昨年度と上位3項目は同じ。
- 在籍学部別にみると、文学部と短期大学部は「学びたい学科・授業内容があること」が1位。歯学部は「交通の便・立地条件」が1位。
  - 文学部は、TOP3の項目は全体と同様。「高校の先生の薦め」「クラブ・サークル」が他学部比べて高い。
  - 歯学部は、1位が「交通の便・立地条件」。「大学の教育方針・理念」「受験しやすい入試制度」「本学在校生・卒業生からの薦め」「学費・奨学金」が他学部比べて高い。
  - 短期大学部は、TOP3の項目は全体と同様。「資格取得・就職サポート」が他学部比べて高い。
- 新入生の性別にみると、男女ともTOP3の項目は全体と同じ。男性は女性に比べて「クラブ・サークル」が高く、女性は「資格取得・就職サポート」が高い。
- 利用入試方法別にみると、AO入試層は全体の上位5項目が他層に比べて高い。指定校推薦層は「資格取得・就職サポート」、指定校以外の推薦層は「クラブ・サークル」がそれぞれ全体に比べて高い。
- 受験時の関与度別にみると、非常に関わった層は、「交通の便・立地条件」「資格取得・就職サポート」「大学の教育方針・理念」「学内の雰囲気」「施設・設備」が他層に比べて高い。
- OC・体験入学参加経験別にみると、参加層は「交通の便・立地条件」「資格取得・就職サポート」が高い。

■ 保護者が鶴見大学への進学を奨めた理由（全体／複数回答）

Q10 学生ご本人に本学へ進学を奨めた理由は何ですか。



※平成29年度全体のスコアの降順ソート

※平成29年度全体より 10 5\* イト以上高い 5 5\* イト以上低い

1\_10

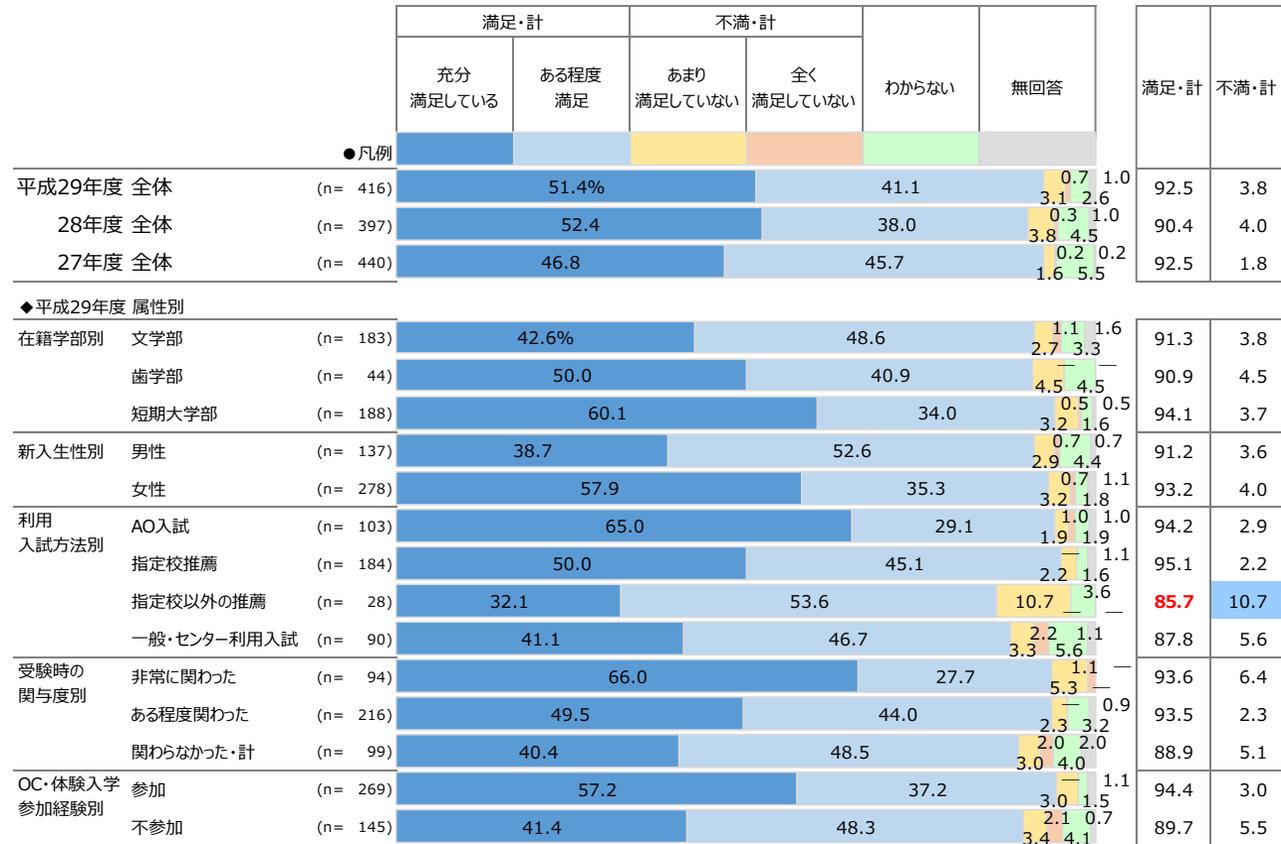
## ④.【保護者の大学選択行動と意識】 入学に対する満足度

▶ 入学に対する満足度は、「充分満足している」が51%、「ある程度満足」(41%)まで含めた「満足・計」は93%。

- 昨年度と「充分満足している」「満足・計」はほぼ同水準。
- 在籍学部別に見ると、いずれの学部も「満足・計」は9割。短期大学部は「充分満足している」が6割に達する。
- 新入生の性別に見ると、女性は男性に比べて「充分満足している」が高い。
- 利用入試方法別に見ると、「充分満足している」はAO入試層が最も高く、以下、指定校推薦／一般・センター利用入試／指定校以外の推薦の順で高い。
- 受験時の関与度別に見ると、関与度が高いほど「充分満足している」が高い。
- OC・体験入学参加経験別に見ると、参加層は不参加層に比べて「充分満足している」が高い。

### ■ 鶴見大学入学に対する満足度（全体／単一回答）

Q6 学生ご本人が本学に入学されたことについて満足しておられますか。



※平成29年度全体より 10 10%以上高い 5 5%以上高い 5 5%以上低い

1\_06

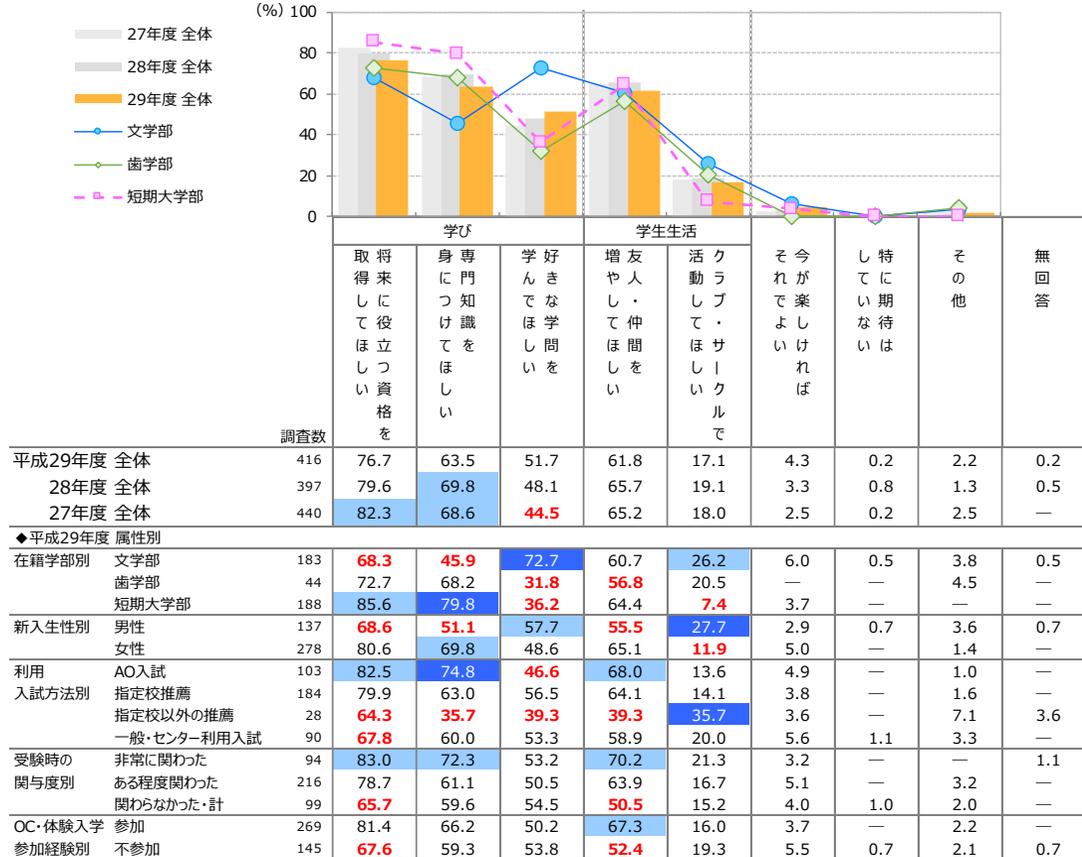
## ⑤.【保護者の大学に対する期待】 保護者が学生生活に期待する事柄

▶ 保護者が学生生活に期待する事柄は、「将来に役立つ資格を取得してほしい」(77%)が最も高く、次いで「専門知識を身につけてほしい」(64%)。これに「友人・仲間を増やしてほしい」が62%で続く。

- 昨年度と比べると、「専門知識を身につけてほしい」が低下。一昨年から「好きな学問を学んでほしい」は増加傾向、「将来に役立つ資格を取得してほしい」は減少傾向。
- 在籍学部別にみると、文学部は「好きな学問を学んでほしい」が最も高く、「クラブ・サークルで活躍してほしい」が他学部比べて高い。短期大学部は「将来に役立つ資格を取得してほしい」「専門知識を身につけてほしい」が他学部比べて高い。
  - 文学部は、「好きな学問を学んでほしい」が最も高く、ついで「将来に役立つ資格を取得してほしい」。「クラブ・サークルで活躍してほしい」が他学部比べて相対的に高い。
  - 歯学部は、1～3位は全体と同様の項目。「好きな学問を学んでほしい」「友人・仲間を増やしてほしい」という期待は相対的に低い。
  - 短期大学部は「将来に役立つ資格を取得してほしい」(86%)が最も高い。「専門知識を身につけてほしい」が他学部比べて高い。
- 新入生の性別にみると、男性は「好きな学問を学んでほしい」「友人・仲間を増やしてほしい」が女性に比べて高い。
- 利用入試方法別にみると、AO入試層は「将来に役立つ資格を取得してほしい」「専門知識を身につけてほしい」「友人・仲間を増やしてほしい」、指定校以外の推薦層は「クラブ・サークルで活躍してほしい」が相対的に高い。
- 受験時の関与度別にみると、関与度が高いほど「将来に役立つ資格を取得してほしい」「専門知識を身につけてほしい」「友人・仲間を増やしてほしい」「クラブ・サークルで活動してほしい」が高い。
- OC・体験入学参加経験別にみると、参加層は不参加層に比べて「友人・仲間を増やしてほしい」が高い。

■保護者が学生生活に期待する事柄（全体／複数回答）

Q11 学生ご本人のこれからの学生生活に期待していることはどのようなことですか。



※ カテゴリーごとに平成29年度全体のスコアの降順ソート

※平成29年度全体より 10 10※ イト以上高い 5 5※ イト以上高い 5 5※ イト以上低い 1\_11

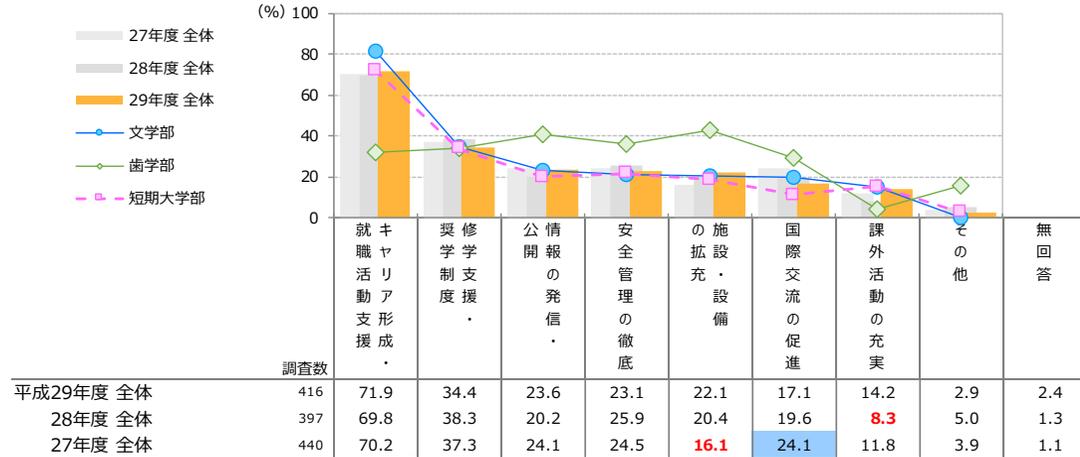
## ⑤.【保護者の大学に対する期待】 重点的に取り組んでほしい事柄

▶ 重点的に取り組んでほしい事柄は、「キャリア形成・就職活動支援」(72%)が突出。次いで「修学支援・奨学制度」(34%)が続く。

- さらに「情報の発信・公開」「安全管理の徹底」「施設・設備の拡充」が2割台で続く。
- 時系列をみると「施設・設備の拡充」は増加傾向、「国際交流の促進」は減少傾向にある。
- 在籍学部別にみると、文学部・短期大学の1位は「キャリア形成・就職活動支援」。歯学部は「施設・設備の拡充」。
  - 文学部は、TOP2は全体と同様だが、1位の「キャリア形成・就職活動支援」は他学部比べて高い。
  - 歯学部は、「施設・設備の拡充」が最も高く、次いで「情報の発信・公開」。上位2項目のほか「安全管理の徹底」「国際交流の促進」が他学部比べて高い。
  - 短期大学部は、TOP2は全体と同様。「国際交流の促進」が他学部比べて低い。
- 新入生の性別では大きな差異はみられない。
- 利用入試方法別にみると、AO入試層「キャリア形成・就職活動支援」「課外活動の充実」が他層に比べて高い。一般・センター利用入試層は「修学支援・奨学制度」「情報の発信・公開」「国際交流の促進」が高い。
- 受験時の関与度別にみると、非常に関わった層は「情報の発信・公開」「施設・設備の充実」が他層に比べて高い。関わらなかった層は、「修学支援・奨学制度」が高い。
- OC・体験入学参加経験別にみると、参加層は「キャリア形成・就職活動支援」が不参加層に比べて高く、不参加層は「国際交流の促進」が高い。

■ 鶴見大学に重点的に取り組んでほしい事柄 (全体/複数回答)

Q12 今後、本学に重点的に取り組んでほしいことはどのようなことですか。



◆平成29年度 属性別			キャリア形成・就職活動支援	修学支援・奨学制度	情報の発信・公開	安全管理の徹底	施設・設備の拡充	国際交流の促進	課外活動の充実	その他	無回答
在籍学部別	文学部	183	81.4	35.0	23.0	21.3	20.8	20.2	15.3	—	1.1
	歯学部	44	31.8	34.1	40.9	36.4	43.2	29.5	4.5	15.9	—
	短期大学部	188	72.3	34.0	20.2	25.8	18.6	11.2	15.4	2.7	3.7
新入生性別	男性	137	70.8	32.1	24.8	25.5	25.5	16.8	13.9	3.6	1.5
	女性	278	72.3	35.6	23.0	21.9	20.5	17.3	14.4	2.5	2.9
利用入試方法別	AO入試	103	80.6	24.3	19.4	17.5	17.5	15.5	19.4	1.9	2.9
	指定校推薦	184	75.5	35.3	22.8	25.5	21.7	13.6	14.1	1.6	2.7
	指定校以外の推薦	28	71.4	39.3	17.9	25.0	21.4	17.9	14.3	3.6	3.6
	一般・センター利用入試	90	57.8	42.2	31.1	24.4	26.7	27.8	8.9	6.7	1.1
受験時の関与度別	非常に関わった	94	68.1	34.0	28.7	27.7	33.0	20.2	14.9	3.2	3.2
	ある程度関わった	216	73.6	30.6	20.4	21.3	18.1	14.8	14.4	3.2	2.8
	関わらなかった・計	99	69.7	42.4	26.3	21.2	21.2	20.2	12.1	2.0	1.0
OC・体験入学参加経験別	参加	269	77.0	32.3	22.7	23.8	23.4	13.8	16.4	1.5	1.9
	不参加	145	62.8	37.9	25.5	22.1	20.0	23.4	10.3	5.5	2.8

※平成29年度全体のスコアの降順ソート

※平成29年度全体より 10 10%以上高い 5 5%以上高い 5 5%以下低い 1\_12

## ⑥. 鶴見大学・鶴見大学短期大学部に関するご意見等(抜粋)

### 【3学部共通】

#### ▶ 教育環境・設備全体に対する評価や感想

- 想像していた以上に楽しい！好きなことを学ぶのはこんなに楽しいことなんだね！入学後の娘のコメントです。卒業までこの気持ちを忘れずに充実した短大生活を送って欲しいです。こんな素敵な教育の場を提供頂き有難うございます。(女性,短大 保育,AO入試,関与度：○,満足度：○○)
- 駅から近く、立地も良く、木々のある環境で素晴らしいキャンパスだと思いました。この環境の中で勉学に励んで欲しいと思います。(女性,短大 歯科衛生,他推薦,関与度：○○,満足度：△)
- オープンキャンパスや学校祭で学生が生き活きとしている姿を沢山見ることが出来ました。学内の施設や設備も整っていて、我が子もこんな素晴らしい環境の元で沢山の方と巡り会い、学んでいって欲しいと思っています。(女性,文 日本文,指定校推薦,関与度：○,満足度：○○)

#### ▶ 付帯設備

- ロッカーがないので不便だと思います。(男性,文 ドキメーション,指定校推薦,関与度：○○,満足度：○)
- 男子寮を作って欲しいです。(男性,歯学部,一般・センター,関与度：△,満足度：○)
- 女子トイレを全て洋式にして貰いたいです。(女性,短大 保育,指定校推薦,関与度：○○,満足度：○○)

#### ▶ 食堂・学食・休憩スペース等の要望

- 食事が取れるスペース、休憩が取れるスペース、座って待たされる場所が少ない気がします。(女性,文 日本文,他推薦,関与度：△,満足度：○)
- 学食のスペースがもっと広いと良いと思います。昼時は学生が多くてなかなか利用できないと言っていました。(男性,文 ドキメーション,他推薦,関与度：○,満足度：○)

#### ▶ 防災対策

- 高台に点在する大学の建物。大規模な地震などへの備えは万全なのか、安全面はどうなのか？立地からして不安になります。子供達への訓練をよろしく願います。(男性,文 英語英米文,他推薦,関与度：○○,満足度：○)

#### ▶ 入試関連

- AO入試で入学させて頂き、合格の運びとなったが、対応して頂いた先生の対応の酷さに、正直親としてはあまり入学しなかったというのが本音です。AO入試でも大学が子供を評価する場であると同時にこちらの側も大学を見ていると言わなければならないと思います。(男性,文 英語英米文,AO入試,関与度：○,満足度：○)
- AO入試レポート相談の先生のおっしゃる内容が本人はあまり理解できていませんでした。不安になるのでYes、Noをはっきり言って頂けるとより前向きに取り組めます。(男性,文 文化財,AO入試,関与度：○,満足度：○○)

#### ▶ 奨学金・特待生

- 奨学金制度がもっと充実して頂けると良いと思います。(女性,文 ドキメーション,一般・センター,関与度：△,満足度：○○)
- 学費をもう少し軽減して頂けると助かります。(男性,歯学部,一般・センター,関与度：○,満足度：○)
- 奨学金制度には通ることが出来ませんが、もう少し幅広くして頂けたら助かります。(女性,短大 歯科衛生,他推薦,関与度：○○,満足度：△)

※回答者のプロフィール凡例

(新入生の性別,新入生の在籍学部学科,利用した入試方法,関与度,満足度)

● 関与度 = 保護者の受験時間関与度	● 満足度 = 鶴見大学入学に対する保護者の満足度
○ ○ : 非常に(積極的に)関わった	○ ○ : 充分満足している
○ : ある程度関わった	○ : ある程度満足
△ : あまり関わらなかった	△ : あまり満足していない
× : まったく関わらなかった	× : 全く満足していない
- : どちらともいえない	- : わからない

## ⑥. 鶴見大学・鶴見大学短期大学部に関するご意見等(抜粋)

### ▶ 授業の出席に関して

- 交通機関の遅延は欠席になってしまうようで驚いています。大幅な遅延の場合は認めて頂けないでしょうか。(男性,歯学部,一般・センター,関与度:〇〇,満足度:〇)
- 学生に電車の遅延による遅刻を認めないなど厳しくするだけでなく、きめ細かく親と連携する仕組みを作って欲しい。(男性,歯学部,一般・センター,関与度:〇,満足度:-)

### ▶ 就職活動支援の要望

- 就職活動の支援を充実して欲しい。社会へ出る為に常識を身につけることを支援して欲しい。(男性,文 文化財,他推薦,関与度:x,満足度:〇)
- 就職情報がより詳しく本人に伝わるようにして欲しい。色々な方法で知ることができれば良い。(女性,短大 保育,指定校推薦,関与度:〇,満足度:〇〇)

### ▶ 学生・保護者向けの情報提供

- 年間スケジュールをもう少し具体的に父母へプリント等でお知らせ頂けませんでしょうか。(女性,歯学部,一般・センター,関与度:〇,満足度:〇)
- 保護者向けに学校たよりのようなものを出して下さると有り難いです。(男性,文 英語英米文,他推薦,関与度:〇〇,満足度:〇)
- 授業の出席の状況や小テストの状況をメールでよいので親にもっと細かに教えて欲しい。学費の1年の負担が大きいので、手遅れ(留年)となる前に手が打てるようにして欲しい。(男性,歯学部,一般・センター,関与度:〇,満足度:-)

### ▶ 文学部への要望

- 本格的に学問を研究できるような支援をお願いします。(女性,文 日本文,その他,関与度:〇〇,満足度:〇〇)
- 学生一人一人の個性を豊かにし、学生が学問を充実でき、大学生活を有意義に過ごせる様にご指導して頂けますよう願います。(男性,文 英語英米文,指定校推薦,関与度:〇,満足度:〇〇)
- 大学生活に一番期待している事は建学の精神、人格形成です。社会生活にとって一番大切なことは経験を積んで貰える環境を望んでいます。若者にとって希望の持てる後押しをお願いします。(男性,文 英語英米文,指定校推薦,関与度:〇,満足度:〇)

### ▶ 歯学部への要望

- 六年間できちんと卒業、また、国家試験が合格できるように普段の授業から厳しく管理して欲しいと思います。(男性,歯学部,一般・センター,関与度:〇,満足度:〇〇)
- “病気をみずして人(病人)を診よ”との理本理念を有する大学があります。貴学に於いても社会貢献しうる専門技術の取得と共に、“歯学の本質とは何か”の教授をして頂けることを求めたいと存じます。また、歯科医師国家試験が選抜試験に変更されていたとのことですが、この問題は“技術論”のことであり、貴大学に於いて更なる指導強化をお願い申し上げます。(男性,歯学部,AO入試,関与度:△,満足度:〇〇)

### ▶ 短期大学部への要望

- 入学前のパンフレットだけでなく、出来るならば半年に一度でも学校の様子を親にも教えて頂けると嬉しいです。家庭との連絡方法にもなりますし、協力もしやすくなります。教育実習、課外授業には親の協力は不可欠になると思います。(女性,短大 歯科衛生,指定校推薦,関与度:〇,満足度:〇〇)

### ▶ その他

- 説明会に伺った時は暑い日でしたので冷たい飲み物を頂き有り難かったです。でも、つまみのグッズは不要です。必要な方だけに差し上げるようにしてはいかがでしょうか?また、その費用でお手玉の材料や色画用紙などの教材費に使って頂いた方が有り難いです。(女性,短大 保育,指定校推薦,関与度:△,満足度:〇)
- 教科書代の支払いの時、振込用紙に教科書代と明記して欲しい。手続き方法を明確にして欲しい。(女性,短大 歯科衛生,AO入試,関与度:〇,満足度:〇〇)

# 平成29年度 調査票

## 「平成29年度 新入生保護者アンケート」

(ご記入にあたって)

- ・学生ご本人に関する設問以外は保護者様ご自身にお尋ねいたします。各設問の該当する番号に「○」をつけてください。
- ・その他を選択された場合、記入事項がありましたら( )にご記入ください。

問 1 学生ご本人との続柄をお知らせください。

1 親	3 兄弟
2 祖父母	4 その他( )

問 2 学生ご本人の性別をお知らせください。

1 男性	2 女性
------	------

問 3 学生ご本人の在籍学部学科をお知らせください。

1 文学部 日本文学科	5 歯学部 歯学科
2 文学部 英語英米文学科	6 短期大学部 保育科
3 文学部 文化財学科	7 短期大学部 歯科衛生科
4 文学部 ドキュメンテーション学科	

問 4 学生ご本人はどの入学試験を受けて本学に入学しましたか。

1 AO入試	5 試験入試(一般入試)
2 指定校推薦(附属を含む)入試	6 大学入試センター試験利用入試
3 推薦入試(一般公募推薦)	7 社会人特別選抜入試
4 推薦入試(スポーツ推薦)	8 その他の入試制度( )

問 5 学生ご本人の受験にどの程度関わりましたか。

1 非常に(積極的に)関わった	4 まったく関わらなかった
2 ある程度関わった	5 どちらともいえない
3 あまり関わらなかった	

問 6 学生ご本人が本学に入学されたことについて満足しておられますか。

1 充分満足している	4 全く満足していない
2 ある程度満足	5 わからない
3 あまり満足していない	

問 7 オープンキャンパス・歯学部一日体験入学に参加しましたか。

1 参加した(参考になった)	3 不参加
2 参加した(参考にはならなかった)	

問 8 本学を知ったきっかけは何ですか。(複数回答可)

1 学生ご本人からの情報	7 高校内説明会、会場での進学相談会
2 大学ホームページ	8 新聞広告 ※該当するものを「○」で囲んでください。
3 大学案内パンフレット	・読売 ・朝日 ・毎日 ・日本経済
4 オープンキャンパスやイベント	・産経 ・神奈川 ・その他( )
5 進学情報誌 ※該当するものを「○」で囲んでください。	9 駅などのポスター
・リナビ進学ブック進学辞典 ・マナビジョンブック大学発見ナビ	10 高校の先生からの情報
・逆引き大学辞典 ・その他( )	11 本学在校生・卒業生からの情報
6 進学情報サイト ※該当するものを「○」で囲んでください。	12 その他( )
・リナビ進学 ・マナビ進学 ・Benesseマナビジョン	
・その他( )	

(裏面に続きます)

問 9 学生ご本人の進学先を考えるときに、一番参考にしたものは何ですか。

1 大学ホームページ	6 高校内説明会、会場での進学相談会
2 大学パンフレット	7 新聞広告 ※該当するものを「○」で囲んでください。
3 オープンキャンパスやイベント	・読売 ・朝日 ・毎日 ・日本経済
4 進学情報誌 ※該当するものを「○」で囲んでください。	・産経 ・神奈川 ・その他( )
・リナビ進学ブック進学辞典 ・マナビジョンブック大学発見ナビ	8 駅などのポスター
・逆引き大学辞典 ・その他( )	9 高校の先生からの情報
5 進学情報サイト ※該当するものを「○」で囲んでください。	10 本学在校生・卒業生の助言
・リナビ進学 ・マナビ進学 ・Benesseマナビジョン	11 その他( )
・その他( )	

問 10 学生ご本人に本学へ進学を奨めた理由は何か。(複数回答可)

1 大学の教育方針・理念	7 交通の便・立地条件
2 学びたい学科・授業内容がある	8 クラブ・サークル
3 資格取得・就職サポート	9 受験しやすい入試制度
4 施設・設備	10 高校の先生からの薦め
5 学内の雰囲気	11 本学在校生・卒業生からの薦め
6 学費・奨学金	12 その他( )

問 11 学生ご本人のこれからの学生生活に期待していることはどのようなことですか。(複数回答可)

1 好きな学問を学んでほしい	5 クラブ・サークルで活動してほしい
2 専門知識を身につけてほしい	6 今が楽しければそれでよい
3 将来に役立つ資格を取得してほしい	7 特に期待していない
4 友人・仲間を増やしてほしい	8 その他( )

問 12 今後、本学に重点的に取組んでもらいたいことはどのようなことですか。(複数回答可)

1 修学支援・奨学制度	5 課外活動の充実
2 キャリア形成・就職活動支援	6 国際交流の促進
3 施設・設備の拡充	7 情報の発信・公開
4 安全管理の徹底	8 その他( )

◎ 本学に関するご意見等がございましたらご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

※お忙しいところ大変恐縮ではございますが、平成29年5月12日(金)までに同封の返信用封筒にて、ご返送くださるよう、よろしくお願い申し上げます。